新居	浜丁業高	等専門学校	開講年度	平成31年度(	2019年度)	授業	付日・1	ナンスティ	′ブデザイン演習
—————————————————————————————————————		<u> </u>	1 (1904)	1 1302 1 12 (	2017 1/2)	1221		, , , , , ,	<u> </u>
<u>17口坐。</u> 科目番号	<del>作IDTX</del>	121/100			科目区分	市	BB / 1921		
	科目番号 121488   愛業形態 演習						専門/選択		
			T 241N		単位の種別と単位の		履修単位: 1		
開設学科			11. 字科		対象学年		4		
開設期					週時間数 2				
教科書/教	(材	配布プリン							
担当教員		吉川 貴士,	皆本 佳計,出口 幹	雄					
到達目標	票								
2. 非工	ンジニアが	理解し、納得で	理解し、考えを記さるプレゼンテー つ立場に立ったア	设計図としてアウト -ションを行うこと <sup>▽</sup> イデアが出せる	・プットできる こができる				
ルーブ!	Jック								
			理想的な到達レ	 ベルの目安	標準的な到達レ	ベルの目安	!	未到達レベ	目安
評価項目1			工作でなく、エンジニアリングで あるので、エビデンスが明確な設 計(ものづくり)ができるため、 チームで協力して行うことができ		考えを設計図としてアウトプッできる				
評価項目2			思考の具現化を復	行い、非エンジニ プレゼンテーショ できる	非エンジニアが理解できるプレゼ ンテーションを行うことができる		非エンジニアが理解できるプレゼ ンテーションができない		
評価項目3			AT機器として3種	重類のカスタマー 複数のアイデアが	設計仕様を満足するアイデアの具 現化ができる		設計仕様を満足するアイデアの具 現化ができない		
学科の発	引達日標	項目との関係	<u> </u>		•				
教育方法		<u>,                                    </u>	• •						
秋月刀.	ム <del>寸</del>	宇殿の医療	III 1日 / 二 十 1 1 十 フ 三田 日		・	C 1-++1	FD F	いぬたて /:	不禁ウオス スの後
概要		夫除の医療	現場にありる謎	即に対して解決条を	[悛釵掟条し、それ	りに刈し、	よりよ	い件をナーム	で策定する。その後、
授業の進	め方・方法	回復期病院、理学療法	等におけるリハヒ 士等専門家からの	記祉現場から評価を ごり現場を理解した Dアドバイスを受け L現場から受ける。		題に対して れ解決案を		を個人で複数 る。その後、	提案し、それらに対し アイデアを具現化し、
注意点	の区分	回復期病院 、理学療法 製作前の最	等におけるリハヒ 士等専門家からの 終評価を医療福祉	ごり現場を理解した )アドバイスを受け 上現場から受ける。	後、現場からの課で、チームでそれぞ		解決案 注策定す		提案し、それらに対し アイデアを具現化し、 らようチームで協力し
注意点	の区分	回復期病院 、理学療法 製作前の最 工作ではな	等におけるリハヒ 士等専門家からの 終評価を医療福祉	ごり現場を理解した )アドバイスを受け 上現場から受ける。	後、現場からの課で、チームでそれぞ		解決案 注策定す		
注意点	の区分	回復期病院、理学療法製作前の最 工作ではな行うこと	等におけるリハヒ 士等専門家からの 終評価を医療福祉	ごり現場を理解した )アドバイスを受け 上現場から受ける。	後、現場からの課で、チームでそれぞ		解決案を 発定する	り) ができる	
主意点	の区分	回復期病院、理学療法製作前の最工作ではなっていると	等におけるリハヒ 士等専門家からの 終評価を医療福祉 よく、エンジニア!	ごり現場を理解した )アドバイスを受け 上現場から受ける。	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確	な設計(も	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点	の区分	回復期病院、理学療法製作前の最工作ではな行うこと	等におけるリハヒ 士等専門家からの 終評価を医療福祉 よく、エンジニア! 受業内容 動座説明、製作物の	ごり現場を理解した シアドバイスを受け L現場から受ける。 リングであるので、 の目的・現状につい	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて	な設計(も	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点	の区分	回復期病院、理学療法製作前の最工作ではな行うこと	等におけるリハヒ 士等専門家からの終評価を医療福祉 なく、エンジニア! 登業内容 極説明、製作物の 療現場について智	ごり現場を理解した シアドバイスを受け 上現場から受ける。 リングであるので、 の目的・現状につい 学び、問題点把握と	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて と設計条件の確認	な設計(も 週ごとの <u>3</u>	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点	D区分 画	回復期病院、関理学療法製作前の最工作ではな行うこと 週 括 3週 厚 3週 フ	等におけるリハヒ 士等専門家からの 終評価を医療福祉 よく、エンジニア! 愛業内容 極説明、製作物の で競現場について等 アイデアの報告(プ	ご リ現場を理解した シアドバイスを受け と現場から受ける。 リングであるので、 か目的・現状につい 学び、問題点把握と レゼン)・評価(	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて	な設計(も 週ごとの到 1,2	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点	の区分	回復期病院 、理学療法 製作前の最 工作ではな 行うこと 週 掲 1週 講 2週 夏 3週 フ 4週 ヲ	等におけるリハヒ 士等専門家からの 終評価を医療福祉 よく、エンジニア! 登業内容 動座説明、製作物の 療現場について等 アイデアの報告(プ ニームコンセプト)	ご リ現場を理解した シアドバイスを受け と現場から受ける。 リングであるので、 か目的・現状につい 学び、問題点把握と レゼン)・評価(	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて と設計条件の確認	<ul><li>は設計(も</li><li>過ごとの至</li><li>1,2</li><li>3</li></ul>	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点	D区分 画	回復期病院 理学療法 製作前の最 工作ではな 行うこと 週 1週 詳 2週 夏 3週 フ 4週 ヲ 5週 様	等におけるリハヒ 士等専門家からの 終評価を医療福祉 なく、エンジニア! 登業内容 情座説明、製作物の 療現場について等 イデアの報告(プ イニムコンセプト記 造設計(概念)	ごり現場を理解した シアドバイスを受け 上現場から受ける。 リングであるので、 の目的・現状につい 学び、問題点把握と レゼン)・評価(I 设定	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて 会計条件の確認 by現場スタッフ)	過ごとの至 1,2 3 3	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点	D区分 画	回復期病院 要件前の最 工作ではな 行うこと 週 担 2週 度 3週 フ 4週 ヲ 5週 権 6週 影	等におけるリハヒ 士等専門家からの 終評価を医療福祉 なく、エンジニア! 登業内容 動座説明、製作物の 意療現場についてき アイデアの報告(プ モームコンセプト記 動造設計(概念) 動計仕様に基づく駆	ごり現場を理解した シアドバイスを受け 上現場から受ける。 リングであるので、 の目的・現状につい 学び、問題点把握と レゼン)・評価(I 殳定 塩床現場からの評価	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて ご設計条件の確認 by現場スタッフ)	過ごとの3 1,2 3 3 2,3	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点	D区分 画	回復期病院 製作前の 工作ではた 行うこと 週 担 2週 夏 3週 フ 4週 月 5週 構 6週 讃	等におけるリハヒ 士等専門家からの 終評価を医療福祉 なく、エンジニア! 登業内容 極難明、製作物の 張療現場について等 イデアの報告(プ ニームコンセプト記 造設計(概念) と計仕様に基づく歴 造設計(全体・プ	ご リ現場を理解した シアドバイスを受け 上現場から受ける。 リングであるので、 り 目的・現状につい が 、 問題点把握と レゼン)・評価(ロ 设定 に	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて ご設計条件の確認 by現場スタッフ)	週ごとの至 1,2 3 3 2,3 1,2	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点本科目の受業計画	D区分 画	回復期病院 製作前のは 大行うこと 週 1週 課 2週 3週 7 4週 7 5週 構 6週 記 7週 構 8週 構	等におけるリハヒ 士等専門家からの 終評価を医療福祉 なく、エンジニア! 登業内容 動強説明、製作物の ででででの報告(プ デームコンセプト記 造設計(概念) と計仕様に基づくい は記録計(全体・ は設計(全体・ に設計(全体・ にはいてにないできた。 にはいてにないできた。 にはいてにないできた。 にはいてにないできた。 にはいてにないできた。 にはいてにないできた。 にはいてにないできた。 にはいてにないできた。 にはいてにないできた。 にはいてにないできた。 にはいてにないできた。 にはいてにないできた。 にはいてにないできた。 にはいてにないできた。 にはいいできた。 にはいいではないできた。 にはいいではいいできた。 にはいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいい	ごり現場を理解した シアドバイスを受け 上現場から受ける。 リングであるので、 の目的・現状につい 学び、問題点把握と レゼン)・評価(I 设定 温床現場からの評価 フローチャート・権 フローチャー	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて ご設計条件の確認 by現場スタッフ)	週ごとの至 1,2 3 2,3 1,2 1,2	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点本科目の	D区分 画	回復期病院 製作前のはな 行うこと 週 1週 夏 3週 7 4週 9 6週 積 8週 構	等におけるリハト 士等専門家からの 終評価を医療福祉 よく、エンジニア! 登業内容 動座説明、製作物の 小でディイデアの報告(プ デームコンセプト記 を設計(概念) と計仕様に基づく監 を設計(全体・プ を設計(全体・プ を設計(全体・プ を設計(全体・プ を設計(全体・プ	ご リ現場を理解した ファドバイスを受け けん でいま	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて ご設計条件の確認 by現場スタッフ)	週ごとの到 1, 2 3 2, 3 1, 2 1, 2	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点本科目の	D区分 画	回復期病院 製作前のはな 行うこと 週 1週 2週 3週 7 4週 9 5週 構 6週 3週 様 8週 棒 8週 棒 9週 構	等におけるリハヒ 士等専門家からの 終評価を医療福祉 なく、エンジニア! 登業内容 動座説明、製作物の 療現場について等 イデアの報告(プ イームコンセプト記 造設計(概念) と計仕様に基づく思 造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・	ご リ現場を理解した アドバイスを受け けん アドバイスを受け は 現場から受ける。 リングであるので、 りつがであるので、 問題点把握と レゼン)・評価( し ひ 定	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて ご設計条件の確認 by現場スタッフ)	週ごとの到 1, 2 3 3 2, 3 1, 2 1, 2 1, 2	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点本科目の受業計画	D区分 画	回復期病院法 製作前のは 行うごと 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 4 8週 4 8週 4 8週 4 8週 4 8週 4 8週 4 8週	等におけるリハヒ 士等専門家からの終評価を医療福祉 く、エンジニア! 愛業内容 動産説明、製作物の 療現場について ディデアの報告(プームコンセプト語 造設計(概念) 対計仕様に基づく 動造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・ 動造設計(全体・  対きない) しょう はいます かいます かいいい しょう はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はい	ご リ現場を理解した	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて ご設計条件の確認 by現場スタッフ)	週ごとの3 1, 2 3 3 2, 3 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点本科目の受業計画	D区分 画 3rdQ	回復期病院法 関理作前のはな 行行でと 週週 1週 2週 3週 7 4週 9週 相 6週 8週 7 8週 9週 相 10週 幕 11週 幕 11週 幕	等におけるリハヒ 士等専門家からの終評価を医療福祉 く、エンジニア! 愛業内容 極難明、製作物の ででイデアの報告(プームコンセプト語 造設計(根念) 計仕様に基づく 随造設計(全体・	ご リ現場を理解した	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて ご設計条件の確認 by現場スタッフ)	週ごとの3 1, 2 3 2, 3 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点本科目の受業計画	D区分 画	回復期病院法 製作前のはな 行うこと 週 1週 2週 3週 7 4週 9 8週 7 8週 4 8週 4 10週 4 11週 4 11週 4 11週 4 11週 4 11週 4	等におけるリハヒ 法等専門家からの 終評価を医療福祉 なく、エンジニア! 愛業内容 がで現場についてで なイデアの報告(プ にしまけ(概念) を計(根念) を計(根ので) を計(はは、としますがです。 をは設計(全体・ をは設計(全体・ をは設計(全体・ をは設計(全体・ をは設計(全体・ をは設計(全体・ をは設計(全体・ をは設計(全体・ をは設計(全体・ をはないできない。	ご リ現場を理解した	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて ご設計条件の確認 by現場スタッフ)	週ごとの到 1,2 3 3 2,3 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点本科目の	D区分 画 3rdQ	回復期病院法 関理学所のはな 行うごと 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	等におけるリハヒ 法等専門家からの 終評価を医療福祉 なく、エンジニア! 受業内容 静空説明、製作物の 症療現場について等 イデアの報告(プ に登計(概念) と計世設計(全体・ に設計(全体・ に設計(全体・ に設計(全体・ に設計(全体・ には設計(全体・ には設計(全体・ にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいいではいいではない。 にはいいではいいではない。 にはいいではいいではいいではない。 にはいいではいいではいいではない。 にはいいではいいではいいではいいではいいではいいではないではいいではいいではいいで	ご リ現場を理解した	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて ご設計条件の確認 by現場スタッフ)	週ごとの至 1,2 3 3 2,3 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点本科目の受業計画	D区分 画 3rdQ	回復期病院法 関理学所のはな 行うごと 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	等におけるリハヒ 法等専門家からの 終評価を医療福祉 なく、エンジニア! 愛業内容 がで現場についてで なイデアの報告(プ にしまけ(概念) を計(根念) を計(根ので) を計(はは、としますがです。 をは設計(全体・ をは設計(全体・ をは設計(全体・ をは設計(全体・ をは設計(全体・ をは設計(全体・ をは設計(全体・ をは設計(全体・ をは設計(全体・ をはないできない。	ご リ現場を理解した	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて ご設計条件の確認 by現場スタッフ)	週ごとの到 1,2 3 3 2,3 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点本科目の受業計画	D区分 画 3rdQ	回復期病院法 関連性所のはな 行うごと 週週 1週 3週 4週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 4 11週 4 11週 4 11週 4 11週 4 11週 4 11週 4 11週 4 11週 4 11週 4 11週 4 11週 4 11週 4 11週 4 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	等におけるリハヒ 法等専門家からの 終評価を医療福祉 なく、エンジニア! 受業内容 静空説明、製作物の 症療現場について等 イデアの報告(プ に登計(概念) と計世設計(全体・ に設計(全体・ に設計(全体・ に設計(全体・ に設計(全体・ には設計(全体・ には設計(全体・ にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいてにない。 にはいいではいいではない。 にはいいではいいではない。 にはいいではいいではいいではない。 にはいいではいいではいいではない。 にはいいではいいではいいではいいではいいではいいではないではいいではいいではいいで	ご リ現場を理解した	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて ご設計条件の確認 by現場スタッフ)	週ごとの至 1,2 3 3 2,3 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点本科目(2)	D区分 国 3rdQ 4thQ	回復期病院法 理学所のはな 行行でと 週 1週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 7月 8月 7月 8月 7月 8月 7月 8月 7月 8月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月	等におけるリハトに 共等専門家からの 終評価を医療福祉 く、エンジニア! 愛業内容 標準説明、製作物の 療現場について を イデアの カイビ を は と は と は と は と は と は と は と は と は と は	ご リ現場を理解した シアドバイスを受け	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて ご設計条件の確認 by現場スタッフ)	週ごとの至 1,2 3 2,3 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点 本科目の 本科目の 受業計画	D区分 国 3rdQ 4thQ	回復理作所でと 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	等におけるリハトは 等専門家からの終評価を医療福祉 く、エンジニア! 愛業内容 軽に 製作物の いで で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ご リ現場を理解した シアドバイスを受け は 現場から受ける。 リングであるので、 リングであるので、 り も	後、現場からの課、チームでそれぞの エビデンスが明確 いて 会設計条件の確認 by現場スタッフ)	週ごとの至 1,2 3 2,3 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2	解決案を 発定する	り) ができる	らようチームで協力し
主意点 本科目の を を 対 が が が が が が が が が が が が が り に り り り り り	D区分 国 3rdQ 4thQ	回復期病院法 理学所のはな 行行でと 週 1週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 7月 8月 7月 8月 7月 8月 7月 8月 7月 8月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月	等におけるリハトは 等専門家からの終評価を医療福祉 く、エンジニア! 愛業内容 軽に 製作物の いで で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ご リ現場を理解した シアドバイスを受け	後、現場からの課、チームでそれぞの エビデンスが明確 いて 会設計条件の確認 by現場スタッフ)	週ごとの至 1,2 3 2,3 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2	解決案を 発定する	り) ができる	
主意点 本科目の で	D区分 国 3rdQ 4thQ	回復期 原注 原理性的では ででと 週 1週 1週 1週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 8週 10週 8週 10週 8週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	等におけるリハヒ 法等専門家からの 終評価を医療福祉 なく、エンジニア! 登書を説明、製作物の では、アーム 製作ののです。 を記録はにの報子のンセプト記 を記録はにの報子のとのできる。 を記録は、全体・に を記録は、全体・に を記録は、全体・に を認識は、全体・に を記録は、全体・に を認識に、全体・に を認識に、全体・に を認識に、全体・に を認識に、全体・に を認識に、一位では、できる。 をは、をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、できる。 をは、をは、をは、をは、をは、をは、をは、をは、をは、をは、をは、をは、をは、を	ごり現場を理解した ファドバイスを受け は	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 いて と設計条件の確認 by現場スタッフ)	週ごとの至 1,2 3 2,3 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2	解決案である。	り) ができる	がようチームで協力し
注意点 本科目の 大学計画 を対象を表する。 をもし、 をもし、 をもし、 をもし、 をもし、 をもし、 をもし、 をもし、	D区分 国 3rdQ 4thQ	回復理作所でと 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	等におけるリハトに (学年) では (学年	ご リ現場を理解した シアドバイスを受け は リカドバイスを受ける。 リングであるので、 り り り り り り り り り り り り り り り り り り り	後、現場からの課 、チームでそれぞ エビデンスが明確 こ設計条件の確認 by現場スタッフ) 「 「 情成要素) 標	週ごとの到 1, 2 3 2, 3 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2	解決案である。	り) ができる	らようチームで協力し 到達レベル 授業週 合計
注意点 本科目の 授業計画 が類 評価割る 総合評価	D区分 国 3rdQ 4thQ	回復期 原注 原理性的では ででと 週 1週 1週 1週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 8週 10週 8週 10週 8週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	等におけるリハトに (学におけるリハト) (特等専門家からの) 終評価を医療福祉 (大学等所の報告に (大学等所の報告に (大学の) を (大学の) を (大学の) を (大学の) を (大学の) を (大学の) を (大学を) を	ご リ現場を理解した シアドバイスを受け は リカドバイスを受ける。 リングであるので、 りまからの いまれに であるので いまれ	<ul><li>後、現場からの課 、チームでそれぞ</li><li>エビデンスが明確</li><li>ご設計条件の確認 by現場スタッフ)</li><li>請成要素)</li><li>標</li><li>態度</li><li>0</li></ul>	週ごとの3 1, 2 3 3 2, 3 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 2 2 3 1, 2	解決案である。	り) ができる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	らようチームで協力し 到達レベル 授業週 合計 100
注意点を担じている。本授をおいては、おいては、おいては、おいては、おいては、おいては、おいては、おいては、	D区分 国 3rdQ 4thQ コアカリ:	回復期 原注 原理性的では ででと 週 1週 1週 1週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 8週 10週 8週 10週 8週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	等におけるリハトに 法等専門家からの 終評価を とい エンジニア! 登業内容 製作物の 要作物の 要作物の 要が 要が 要が 要が 要が 要が 要が 要が でった ここ できない でった ここ できない できない はい できない はい	ごり現場を理解した シアドバイスを受ける。 リングであるので、 シアドバイスを受ける。 リングであるので、 シア・現状についます。 シア・現状についます。 シア・ア・マート・をはない。 シア・ア・マート・をはない。 シア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	<ul><li>後、現場からの課 、チームでそれぞ</li><li>エビデンスが明確</li><li>ご設計条件の確認 by現場スタッフ)</li><li>構成要素)</li><li>標</li><li>態度</li><li>0</li><li>0</li></ul>	週ごとの至 1,2 3 3 2,3 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 50 0	解決案である。	り) ができる (************************************	らようチームで協力し 到達レベル 授業週 合計 100 0
注意点 本科目の 授業計画 分類 評価割る 総合評価	D区分 国 3rdQ 4thQ コアカリ: 割合 0 カ 0 カ 0	回復期 原注 原理性的では ででと 週 1週 1週 1週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 8週 10週 8週 10週 8週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	等におけるリハトに (学におけるリハト) (特等専門家からの) 終評価を医療福祉 (大学等所の報告に (大学等所の報告に (大学の) を (大学の) を (大学の) を (大学の) を (大学の) を (大学の) を (大学を) を	ご リ現場を理解した シアドバイスを受け は リカドバイスを受ける。 リングであるので、 りまからの いまれに であるので いまれ	<ul><li>後、現場からの課 、チームでそれぞ</li><li>エビデンスが明確</li><li>ご設計条件の確認 by現場スタッフ)</li><li>請成要素)</li><li>標</li><li>態度</li><li>0</li></ul>	週ごとの3 1, 2 3 3 2, 3 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 2 2 3 1, 2	解決案である。	り) ができる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	らようチームで協力し 到達レベル 授業週 合計 100